

最新の審美・インプラント治療



山崎長郎D.D.S.

* 審美と機能の調和を目指して *

現代の歯科審美・インプラント治療には、マテリアルの革新・開発により大きな変化がもたらされている。しかも、その発展と進歩の速度は、私達の予想を遙かに超えるものとなっている。

一方、患者サイドにおいても、様々な媒体・分野から情報・知識を得て、従来の審美・インプラント治療より更に一歩進んだ審美性を望む声が高まりつつある。この事自体は非常に喜ばしい事であるが、一方、それはある種の危険性を孕んでいる。つまり、審美性を追及するあまり、治療の本質を歪めかねない、という事である。審美・インプラント治療は審美・機能・構造力学・生物学・歯肉レベルの5つの基本事項を満足させ得るものでなければ、真の意味での歯科審美・インプラント治療とは言い難い。

本日は、この5つの基本事項の本質を明確にし、これら5つの基本事項に裏付けされた審美・インプラント治療の臨床的基準についての話を、咬合治療の実際と併せて進め、更に、最新のマテリアルについても触れていきたいと思う。

I 補綴治療の思考と指針 補綴治療に必要な5つの要素

- ①審美 ②機能 ③構造 ④生物学 ⑤歯肉レベル

II 最新のマテリアルと修復手法

- ①Composite ②Porcelain Inlay Only ③Laminate Veneers ④All Ceramics ⑤Metal Ceramics

III 最新のインプラント治療の概念

- ①Single Tooth Implant ②Multiple Tooth Implant

講師：山崎長郎先生

日時：2008年2月17日(日)09:30~16:00

会場：熊本県歯科医師会館 ホール

費用：歯科医師5,000円/その他3,000円

申込：熊本S.J.C.D.事務局

〒862-0933熊本市小峯1丁目1-95
096-331-0567(fax331-0577)
taka@ourdent.com

定員：100名

参加資格：熊本S.J.C.D.会員及び勤務先の歯科医療従事者

(略歴)

- 1945年 長野県生れ
1970年 東京歯科大学卒業
1974年 原宿デンタルオフィス開院
東京S.J.C.D.最高顧問
S.J.C.D.インターナショナル会長

(論文)

- 歯周と補綴 歯界展望1986年
歯周・咬合・補綴治療の成否を判断する臨床的パラメーター 歯界展望1987年
歯周・咬合・補綴治療を成功させるための臨床的基準 補綴臨床1989年
歯周疾患を伴う欠損歯列の補綴 補綴臨床1989年
エステティックの手法 ザ・クインテッセンス1989年
歯周補綴のデザイン 補綴臨床 1994年
デンタル・エステティック ザ・クインテッセンス1994年
生物学的審美的支台歯形成のために 補綴臨床1997年
その他多数

会 員 名	DR	他	診 療 所 ・ 勤 務 先	合計額
	人	人		円

FAX 096-331-0577 できるだけお早めにお申し込みください